

# 健康科学・看護学専攻シラバス

2013年度  
(冬学期)

東京大学大学院医学系研究科



平成25年度冬学期 健康科学・看護学専攻講義科目シラバス 目次

科目番号	科目名	ページ
41321122	精神保健学特論 II	1
41321132	疫学・予防保健学特論 II	2
41321162	生物統計学特論 II	3
41321232	成人看護学特論 II	4
41321252	家族看護学特論 II	5
41321262	地域看護学特論 II	6
41321272	精神看護学特論 II	7
41321282	老年看護学特論 II	8
41321292	母性看護学・助産学特論 II	9
41321312	保健医療情報学特論 II	10
41321322	放射線健康科学特論 II	11
41321362	創傷看護学特論 II	12

平成25年度冬学期 健康科学・看護学専攻講義科目一覧

科目番号	科目名	担当教員	曜日・時間	学期	開始日・その他連絡事項	単位	教室	頁
41321122	精神保健学特論 II	川上 憲人 教授 島津 明人 准教授	火:5	冬	10月1日(火)16:40～	2	教育研究棟13F 公共健康医学専攻講義室	1
41321132	疫学・予防保健学特論 II	大橋 靖雄 教授 松山 裕 准教授	木:2	冬	10月3日(木)10:00～ 単位取得希望者は開始日に出席のこと。	2	医学部3号館別棟5F (W505)	2
41321162	生物統計学特論 II	松山 裕 准教授	水:5&6	冬	10月2日(水)16:00～ 単位取得希望者は開始日に出席のこと。	2	医学部3号館別棟5F (W505)	3
41321232	成人看護学特論 II	山本 則子 教授	木:3&4	冬	10月3日(木) 受講希望者は10月3日の初回ガイダンスに出席すること。	2	医学部5号館:210	4
41321252	家族看護学特論 II	上別府 圭子 教授	金:3&4	冬	10月18日(金)13:00～ 受講希望者は、9/末までに連絡をください。 (kkamibepu-uky@umin.ac.jp)	2	医学部5号館:107	5
41321262	地域看護学特論 II	永田 智子 准教授	火:3&4 (原則)	冬	10月16日(水)3限 受講希望者は、10月8日(火)までに永田までメールを下さい。 (satoko-uky@umin.ac.jp)	2	医学部5号館:109	6
41321272	精神看護学特論 II	川上 憲人 教授	火:1	冬	10月8日(火) 履修希望者は9月27日(金)までに川上までメールで連絡してください (kawakami@m.u-tokyo.ac.jp)	2	医学部3号館3F:S308	7
41321282	老年看護学特論 II	真田 弘美 教授	月:5&6	冬	10月28日(月)	2	医学部3号館: S101(～11/25) N101(12/2～)	8
41321292	母性看護学・助産学特論 II	春名 めぐみ 准教授	木:3&4	冬	9月12日(木) 受講希望者は、春名(mharuna-uky@umin.ac.jp)、または内線23379までご連絡下さい。	2	医学部5号館:315	9
41321312	保健医療情報学特論 II	大江 和彦 教授 美代 賢吾 准教授	木:13:15- 15:00	冬	10月3日(木) 受講希望者は事前にメールで連絡して下さい。 (miyo-sup@h.u-tokyo.ac.jp)	2	病院管理研究棟4F 企画情報運営部会議室	10
41321322	放射線健康科学特論 II	宮川 清 教授	木:5	冬	10月3日(木) 受講希望者は事前に内線23503まで連絡してください。	2	医学部3号館別棟 S104	11
41321362	創傷看護学特論 II	真田 弘美 教授	月:5&6	冬	1月20日(月)	2	医学部3号館:S101	12

各講義の開始日や教室などは、掲示などを十分注意して、常に確認してください。

夏学期:平成25年4月8日(月)～平成25年9月30日(月) / 冬学期:平成25年10月1日(火)～平成26年2月14日(金)

科目番号	41321122	授業科目名	精神保健学特論 II		
学 期	冬学期	曜 日	火曜日	時 限	5 限
担 当 教 員	島津明人、川上憲人、非常勤講師				
講 義 室	医学部・教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻講義室				
授業開始日	10月1日(火)				
授業の目的	職場のメンタルヘルスの専門職として必要とされる知識・技術を、講義および事例研究とその後の討論によって習得することを目的とする。具体的には、制度・法規、利用者の状態および特性を踏まえた対応、関連職種間の連携、近年の社会経済情勢を踏まえた対策について学び、具体的な対策を現場で進めることのできる能力を養成する。				
授業の方法	各回1テーマの講義あるいは事例研究(ケーススタディ) 担当教員(または非常勤講師)による講義と全員での討論。				
授 業 日 程	10/ 1 コース概要, 産業精神保健総論 10/ 8 メンタル不調者対応の基本的な枠組み・専門職が留意すべきこと 10/15 ワーク・ライフ・バランスとメンタルヘルス 10/22 日本人の長時間労働について 10/29 キャリア発達とメンタルヘルス 11/ 5 職場環境改善の効果的な進め方 11/12 外部のメンタルヘルスサービス機関をどのように選定するか? 11/19 現代型うつ病について 11/26 組織・個人の活性化とポジティブメンタルヘルス 12/ 3 失業者のメンタルヘルス対策 12/10 労働者の復職支援プログラム 1/ 7 中小規模事業所のメンタルヘルス対策と公的支援体制 1/14 これからの職場のメンタルヘルス 1/21 経営学からみたメンタルヘルス				
教科書及び参考書	毎回、講義資料を配付する。				
成績評価	出席(30%)、レポート(70%)により総合的に評価する。				
そ の 他	精神保健疫学と対策の基礎について学ぶ「精神保健学特論 I」を受講していることが望ましい。				

科目番号	41321132	授業科目名	疫学・予防保健学特論 II		
学期	冬	曜日	木	時限	2
担当教員	大橋靖雄・松山 裕				
講義室	医学部3号館別棟5F W505				
授業開始日	10月3日 10:00-12:00				
授業の目的	下記の教科書を輪読する。 Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. Modern Epidemiology, 3rd ed. Wolters Kluwer 2008.				
授業の方法	輪読形式				
授業日程	10月3日(木)から12月5日(木)まで				
教科書及び参考書					
成績評価	出席点と発表点				
その他					

科目番号	41321162	授業科目名	生物統計学特論 II		
学 期	冬	曜 日	水	時 限	5・6
担当教員	松山 裕				
講 義 室	医学部 3 号館別棟 5 F W505				
授業開始日	10 月 2 日 16 : 00-18 : 00				
授業の目的	臨床試験で用いられる中間解析の方法論を学び、中間解析を含む試験計画を行う。				
授業の方法	講義、輪読、発表				
授 業 日 程	<p>使用教科書・論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Dmitrienko A, Molenberghs G, Chuang-Stein C, OffenW. Analysis of Clinical Trials Using SAS®: A Practical Guide. Cary(NC): SAS Institute Inc.; 2005.</li> <li>2. Friedman LS, Furberg CD, DeMets DL. Fundamentals of Clinical Trials 4th Edn. NewYork: Springer; 2010.</li> <li>3. DeMets DL, Lan KKG. Interim analysis: The alpha spending function approach. Stat Med 1994; 13:1341-52.</li> <li>4. Lachin JM. A review of methods for futility stopping based on conditional power. Stat Med 2005; 24:2747-64.</li> <li>5. Friedman LS, Spiegelhalter DJ. Comparison of Bayesian with group sequential methods for monitoring clinical trials. Controlled Clin Trials 1989; 10:357-67.</li> </ol> <p>※ 2-5 は PDF ファイルが terastation2(¥¥terastation2¥shared¥特論 ¥2013 生物統計 II)にあります。</p> <p>1.は助教室に 1 冊あるので各自コピーしてください。</p>				
教科書及び参考書					
成績評価	出席点と発表点				
そ の 他					

科目番号	41321232	授業科目名	成人看護学特論 II
学期	冬学期	曜日	木曜日
担当教員	山本則子, 非常勤講師		
講義室	医学部 5号館 210号室		
授業開始日	平成 25年 10月 3日		
授業の目的	変化する保健医療福祉制度の中での看護学及び看護実践の今後の在り方を考える。特に, 成人看護における高度実践とその支援技術の基盤について学ぶとともに, 看護業務の専門性と法的責任がどのように規定されているのかを講義を通して学ぶ。		
授業の方法	担当教員及び非常勤講師による講義ならびにディスカッション		
授業日程	10月 3日 ガイダンス (3時限) 10月 10日 糖尿病看護認定看護師の高度実践 (東大病院看護部: 糖尿病看護認定看護師 大橋優美子) がん看護専門看護師の高度実践 (東大病院看護部: がん看護専門看護師 海津 未希子) 10月 17日 米国 NP の役割 (鈴木 美穂) 10月 31日 看護業務の専門性と法 1 (國學院大学 法科大学院 平林 勝政) 11月 14日 看護業務の専門性と法 2 (平林 勝政) 11月 21日 看護業務の専門性と法 3 (平林 勝政) 11月 28日 日本における高度実践看護 (東京医療保健大学 草間 朋子) 12月 19日 認定看護師教育 (日本看護協会看護研修学校 島橋 誠) ※講義内容・日程は変更する場合があります。		
教科書及び参考書	適宜紹介する		
成績評価	出席, ディスカッションへの参加および最終レポートにより統合的に評価する		
その他	講師の都合により日時変更の可能性あり 受講希望者は 10月 3日の初回ガイダンスに出席すること。 連絡先: 成人看護学教室 事務 松本 (内線 23508) e-mail: etsukom-tky@umin.ac.jp		



科目番号	41321252	授業科目名	家族看護学特論Ⅱ		
学期	冬	曜日	金	時限	3・4
担当教員	上別府圭子、池田真理、佐藤伊織（家族看護学分野） 非常勤講師 山崎 あけみ（上智大学総合人間科学部看護学科 准教授） 法橋 尚宏（神戸大学大学院保健学研究科家族看護学分野 教授）				
講義室	医学部5号館107号室				
授業開始日	10月18日（金）				
授業の目的	家族看護学の基礎を踏まえ、家族を研究の対象とするときの特徴および計画立案を学ぶ。				
授業の方法	第1-6回 担当教員による講義 参考にする文献の提示と解説 ディスカッション 演習 第7回 受講者による [仮] 研究計画の発表とピアレビュー まとめ				
授業日程	<p>①10月18日 家族を対象とする文献の検索と整理</p> <p>②11月 1日 家族看護学研究のリサーチクエスト</p> <p>③11月 8日 日本人家族の家族機能研究と家族支援方法論（法橋尚宏）</p> <p>④11月22日 家族看護学研究の課題 ①量的研究法（山崎あけみ）</p> <p>⑤12月13日 問いにふさわしい家族看護学研究デザイン</p> <p>⑥12月27日 家族看護学研究の課題 ②質的研究法・事例研究（山崎あけみ）</p> <p>⑦ 1月17日 [仮] 研究計画の発表とピアレビュー</p> <p><b>※ 日程は変更の可能性があります。</b></p>				
教科書及び参考書	<p>上別府圭子編（2012）【特集】家族の研究・理解・支援：家族看護学を考える。保健の科学. 54(8), (9). 杏林書院.</p> <p>原田隆之・大島巖・津富宏・上別府圭子監訳(2010) ランダム化比較試験（RCT）の設計 ヒューマンサービス、社会科学領域における活用のために. 日本評論社.</p> <p>山崎あけみ（2008）家族看護実践に役立つ研究. 山崎あけみ・原礼子編集, 家族看護学-19の臨床場面と8つの実践例から考える-. p. 221-262, 南江堂.</p> <p>※上記4冊は医学図書館に所蔵</p> <p>Polit, DF, Beck, CT. (2003) <i>Nursing Research: Principles and Methods (seventh edition)</i>. PA: Lippincott Williams &amp; Wilkins.</p> <p>※上記1冊は家族看護学分野図書室に所蔵 ※その他関連文献は、随時講義中に紹介をします。</p>				
成績評価	出席状況・[仮]研究計画などのプレゼンテーションにより単位認定を行います。ただし評価方法については、話し合いにより考慮し変更することも可能です。				
その他	※受講希望者は、9月30日までに下記まで連絡をください。合わせて、関心領域・持っている臨床上の問い・研究したいテーマをお知らせください。 連絡先：kkamibepu-tky@umin.ac.jp				

科目番号	41321262	授業科目名	地域看護学特論Ⅱ																							
学期	冬学期	曜日	原則火曜日	時限	3・4限																					
担当教員	永田智子（東京大学大学院 地域看護学分野） 田上豊（三菱総合研究所人間・生活研究本部） 麻原きよみ（聖路加看護大学 地域看護学） 大森純子（聖路加看護大学 地域看護学）																									
講義室	医学部5号館 109号室																									
授業開始日	10月16日（水）3限																									
授業の目的	地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。																									
授業の方法	講義、一部輪読																									
授業日程	<hr/> <table> <tr> <td>10月16日（水）</td> <td>エスノグラフィー</td> <td>（麻原）</td> </tr> <tr> <td><u>10月18日（金）</u></td> <td>調整中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月30日（水）</td> <td>Community-based Participatory Research</td> <td>（大森）</td> </tr> <tr> <td>11月5日（火）</td> <td>在宅ケアの歴史と展望</td> <td>（田上）</td> </tr> <tr> <td>11月13日（水）</td> <td>公衆衛生看護の倫理</td> <td>（麻原）</td> </tr> <tr> <td>11月19日（火）</td> <td>在宅ケアの社会経済的評価</td> <td>（田上）</td> </tr> <tr> <td>11月26日（火）</td> <td>地域ケアの評価</td> <td>（田上）</td> </tr> </table> <hr/>					10月16日（水）	エスノグラフィー	（麻原）	<u>10月18日（金）</u>	調整中		10月30日（水）	Community-based Participatory Research	（大森）	11月5日（火）	在宅ケアの歴史と展望	（田上）	11月13日（水）	公衆衛生看護の倫理	（麻原）	11月19日（火）	在宅ケアの社会経済的評価	（田上）	11月26日（火）	地域ケアの評価	（田上）
10月16日（水）	エスノグラフィー	（麻原）																								
<u>10月18日（金）</u>	調整中																									
10月30日（水）	Community-based Participatory Research	（大森）																								
11月5日（火）	在宅ケアの歴史と展望	（田上）																								
11月13日（水）	公衆衛生看護の倫理	（麻原）																								
11月19日（火）	在宅ケアの社会経済的評価	（田上）																								
11月26日（火）	地域ケアの評価	（田上）																								
教科書及び参考書	追って指示する																									
成績評価	出席、文献輪読、発表・討議により評価する。																									
その他	受講希望者は、10月8日（火）までに永田までメールを下さい。 連絡先：地域看護学分野 永田（内線：23649） E-mail：satoko-tky@umin.ac.jp																									

科目番号	41321272	授業科目名	精神看護学特論Ⅱ		
学 期	冬	曜 日	火曜	時 限	1 (9:00-10:30)
担 当 教 員	川上憲人 (精神看護学分野兼担)、梅田麻希 (精神保健学分野)				
講 義 室	医学部3号館3F S308				
授業開始日	平成25年10月8日				
授業の目的	精神保健・精神看護の疫学研究の進め方：精神保健学では疫学的手法を用いた研究が主流となっており、その進歩に大きな役割を果たしている。このコースでは、精神保健・精神看護学の疫学研究の進め方について理解し、その基本的な技術を習得する。				
授業の方法	研究の枠組み、論文の読み方、研究デザインとデータの収集、論文の書き方について講義と演習を行う。				
授 業 日 程	<p>第1回 10月8日 研究とは何か・仮説を読み取る (川上)</p> <p>第2回 10月15日 疫学と生物統計学の基礎 (川上)</p> <p>第3回 10月22日 精神保健・看護の疫学論文の読み方 (川上)</p> <p>第4回 11月5日 論文を読む(1) (川上)</p> <p>第5回 11月12日 論文を読む(2) (梅田)</p> <p>第6回 11月19日 論文を読む(3) (川上)</p> <p>第7回 11月26日 論文を読む(4) (梅田)</p> <p>第8回 12月3日 システムティックレビューとメタ分析 (梅田)</p> <p>第9回 12月10日 研究デザインとデータの収集 (川上)</p> <p>第10回 12月17日 精神保健・看護の疫学論文の書き方 (川上)</p> <p>第11回 1月7日 論文を書く(1) (川上)</p> <p>第12回 1月14日 論文を書く(2) (川上)</p> <p>第13回 1月21日 まとめ (川上)</p> <p>※授業は、英語および日本語で行われます。  ※受講者は疫学、生物統計学の基礎に関する授業を受講済みの者であることが望ましいです。</p>				
教科書及び参考書	毎回配付資料を準備します。				
成績評価	出席、演習への参加、レポートに基づいて行います。				
そ の 他	履修希望者は9月27日(金)までに川上あてにメールで連絡してください (kawakami@m.u-tokyo.ac.jp)				

科目番号	41321282	授業科目名	老年看護学特論 II
学 期	冬	曜 日	月
時 限	5&6		
担当教員	真田弘美、森武俊、吉田美香子		
講 義 室	医学部 3 号館 S101 (10/28, 11/11, 25)、N101 (12/2, 9, 16)		
授業開始日	平成 25 年 10 月 28 日 (月)		
授業の目的	高齢者人口の爆発的増加を控える現代社会においては、疾病の治療のみへの着眼では解決できない課題が山積している。本特論では、高齢者医療・看護を様々な視点、つまり生物機能の側面から、個体機能や社会機能の側面まで含んだ視点を各専門家から幅広く学び、今後の日本社会の在り方について各々が考察できるよう科学的思考を身につける。		
授業の方法	講義および討議		
授 業 日 程	<p>平成 25 年 10 月 28 日 (月) 「高齢者の排尿管理」 東京大学大学院医学系研究科泌尿器外科学 講師 鈴木基文先生</p> <p>平成 25 年 11 月 11 日 (月) 「新たな技術創生における大学・病院の連携」「Nursing Translational Research」 社会連携講座アト<sup>レ</sup>バンスナーシングテクノロジー 准教授 村山陵子先生</p> <p>平成 25 年 11 月 19 日 (火) (教育研究棟第 1, 2 セミナー) 「老年症候群とヘルスプロモーション」 東京大学大学院医学系研究科老年病学 教授 秋下雅弘先生</p> <p>平成 25 年 11 月 25 日 (月) 「若年認知症者と介護家族へのケア (仮)」 首都大学東京健康福祉学部看護学科高齢者看護学 教授 勝野とわ子先生</p> <p>平成 25 年 12 月 2 日 (月) 「高齢者の立位・歩行機能評価：フィールド計測のためのデバイス開発」 「高齢者支援の為の工学技術」 お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科人間工学研究室 教授 太田裕治先生</p> <p>平成 25 年 12 月 9 日 (月) 「骨格筋のエネルギー代謝 (仮題)」 「侵襲や炎症が引き起こす代謝変動とその対処 (仮題)」 上尾中央総合病院 栄養管理センターセンター長 大村健二先生</p> <p>平成 25 年 12 月 16 日 (月) 「未定」 医療法人社団浅ノ川 千木病院 看護部長 田端恵子先生</p>		
教科書及び参考書	別途指示します。		
成績評価	出席およびレポート		
そ の 他	連絡教員：吉田美香子 (医学部5号館304、内線23451、mokka-tky@umin.ac.jp)		

科目番号	41121292	授業科目名	母性看護学・助産学特論 II			
学 期	冬学期	曜 日	木		時 限	3・4
担 当 教 員	春名めぐみ、松崎政代 非常勤講師：我部山キヨ子（京都大学）					
講 義 室	医学部5号館 315					
授業開始日	9月12日（木）					
授業の目的	研究を推進するための基礎的能力を育成する。 母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズに対応できる基礎的能力を育成する。					
授業の方法	論理的な文章を書くための基本的な考え方と方法論についての演習（トピックスについての討論）、および非常勤講師による講義					
授 業 日 程	9月12日(木) 13:00 - 16:20 論理的な文章を書くために1 春名 27日(木) 13:00 - 16:20 論理的な文章を書くために2 春名 10月10日(木) 13:00 - 16:20 論理的な文章を書くために3 春名 24日(木) 10:30 - 16:20 助産学研究・教育の課題と展望 我部山 11月1日(金) 13:00 - 16:20 討論：出生前診断 春名 7日(木) 13:00 - 16:20 討論：不妊治療の年齢制限 春名 12月5日(木) 13:00 - 16:20 Publishing ethics 松崎					
主な参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams. The Craft of Research (Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing) 2008.</li> <li>・Arlene Fink. Conducting research literature reviews. - From the Internet to Paper- 3rd Edition (Sage Publications, Inc) 2009.</li> <li>・Gary Blake, Robert W. Bly. Elements of Technical Writing (Elements of Series). (Longman Publishers) 1993.</li> <li>・William Strunk Jr., E. B. White. The Elements of Style, 4th Edition (Longman Publishers) 1999.</li> <li>・木原雅子, 木原正博. 医学的研究デザイン. メディカルサイエンスインターナショナル社. 2009.</li> </ul>					
成績評価	出席率, 演習発表を総合的に評価して判定する					
そ の 他	受講希望者は、母性看護学・助産学分野の春名(E-mail: mharuna-ky@umin.ac.jp)、または内線 23379 までご連絡下さい。					

科目番号	41321312	授業科目名	保健医療情報学特論Ⅱ		
学 期	冬	曜 日	木	時 限	13:15-15:00
担 当 教 員	大江 和彦 (教授) / 美代 賢吾 (准教授)				
講 義 室	附属病院管理研究棟 4F 企画情報運営部 会議室				
授業開始日	10月3日				
授業の目的	保健・医療情報学に関わる英文原著論文を輪読し、保健医療分野の現在の課題やトピックスと対比させながら議論することにより、当該分野における情報学の役割を学ぶことを目的とする。				
授業の方法	最近 (1年以内)の医療情報学関係を中心とした論文誌から、発表担当者が1論文を教員指導のもとで選択し、その概略を40分程度でプレゼンテーションし、40分程度の質疑応答および、教室員とともに議論をする。 発表担当の当番は、事前に輪番で指名される。 発表担当者は、1週間前までに話題または論文タイトルをアナウンスする。 発表者以外の参加者は事前に目を通し、当日質問することにより議論に参加する。				
授業日程	10月から2月まで原則、毎週木曜日の3限および4限 (13:15~15:00)に実施する。  なお、教室の事情により事前通知のもとで、日程変更する場合がある。				
教科書及び参考書	Biomedical Informatics : Computer Applications in Health Care and Biomedicine. 3rd Edition. by Edward H. Shortliffe (Editor), Springer, 2006				
成績評価	出席、発表、質疑参加など総合的に評価する。				
そ の 他	履修希望者は事前にmiyo-sup@h.u-tokyo.ac.jp までメールにて連絡をして下さい。				

科目番号	41321322	授業科目名	放射線健康科学特論 II		
学 期	冬	曜 日	木	時 限	5
担当教員	宮川 清				
講 義 室	医学部 3 号館別棟 S104				
授業開始日	10 月 3 日				
授業の目的	現代の医療において、放射線を有効に活用するために、そのリスクとベネフィットについて最先端の生命科学の視点から理解を深める。				
授業の方法	放射線生命科学における最近の論文を学生が紹介し、その内容について討議する。				
授 業 日 程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 放射線による DNA 損傷応答・修復機構</li> <li>2. 抗がん剤による DNA 損傷応答・修復機構</li> <li>3. ゲノム安定性の維持機構</li> <li>4. 臨床腫瘍学</li> </ol> <p>以上の領域におけるトピックスを毎週選定する。</p>				
教科書及び参考書	別途指示				
成績評価	出席状況				
そ の 他					

科目番号	41321362	授業科目名	創傷看護学特論 II
学 期	冬	曜 日	月
担 当 教 員	真田弘美、峰松健夫、吉田美香子		
講 義 室	医学部 3 号館 S101		
授業開始日	平成 26 年 1 月 20 日		
授業の目的	難治性潰瘍の管理は、発生の予測・予防に始まり、創のアセスメント、治療などが含まれ、創傷管理に従事する看護師は多岐にわたる知識を要求される。本講義では、創傷管理に関連する基礎研究から実践までを含んだ最新の知見を各分野の専門家から学び、また討議を通じて創傷管理に対する科学的思考能力を身につけることを目的とする。		
授業の方法	講義および討議		
授 業 日 程	<p>1 月 20 日 (月) 安部正敏先生 (医療法人社団廣仁会札幌皮膚科クリニック) 「皮膚科学からの創傷の基礎と応用」</p> <p>1 月 27 日 (月) 須釜淳子先生 (金沢大学臨床実践看護学講座) 「体圧分散寝具の基礎と応用・残された課題」</p> <p>2 月 3 日 (月) 藪中幸一先生 (医療法人大植会 葛城病院 放射線科) 「超音波検査の基礎と創傷管理の応用」</p> <p>2 月 10 日 (月) 赤瀬智子先生 (横浜市立大学医学系研究科 看護学専攻看護生命科学分野) 「看護薬理学」</p> <p>2 月 17 日 (月) 飯坂真司先生 (老年看護学分野) 「栄養と創傷」</p> <p>3 月 3 日 (月) 小柳礼恵先生 (東京大学医学部附属病院看護部) 「WOC の創傷ケア」 内藤亜由美先生 (藤沢市民病院 WOC 相談室) 「アドバンスト創傷ケア」</p> <p>3 月 10 日 (月) 梶原隆司先生 (株式会社モルテン取締役) 「医療問題への企業のアプローチ-製品開発・普及への取り組み」</p> <p>連絡教員：吉田美香子 (老年看護学/創傷看護学分野) オフィス：医学部 5 号館 304 内線：23451 E-mail：mokka-ky@umin.ac.jp</p>		
教科書及び参考書	別途指示する。		
成績評価	出席およびレポート		
その他			



[MEMO]

[MEMO]

[MEMO]